



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第10巻第
1号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第10巻第1号). 泌尿器科紀要 1964, 10(1): 58-58

ISSUE DATE:

1964-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112502>

RIGHT:

編集後記

大学病院や公的病院で医師が不足している。既に勤務医が底に達している。開業医は僻地以外で過剰である。日本全体では人口と医師数の比率が大体に妥当である。地域に、職域に著しい不均衡がある。文部省や厚生省の役人へ机上の数字を主として考へ、現場の実情を疎かにする。医学生及び医師を増加する必要はない。簡単に考へていよう。現実には勤務医が如何に不足しているか。病院の実態を見れば直ぐに判る。ソコで医学生を増し、従って医師を増す事へ勿論必要である。単にソレだけではない。医師が開業の方へ流れ込まずに勤務医が増す方策を講じなければならぬ。ソレにハハツキリ云へば勤務医の待遇を良くする事だ。現在では卒業後、暫くは開業するわけにユカヌカラ勤務医になつていよう。ソノ内ニ俸給ノ低サノ故ニ開業スル事ニナル。開業医ハ昔程デハナイガ勤務医ヨリハマシナル。ソレデ勤務医ノママデ継続サセルタメニハソノママデモ生活ニ不安ノナイダケノ俸給ヲ与エレバヨイ。ソウナレバ勤務医ノ不足ハ解消シ開業医ノ過剰モナクナル。僻地医師ノ底デモ医師ガワルイノデハナイ。待遇ヲ充分ニスレバ僻地ヘ行ク医師モアル。唯コレヲ場合ニ最モ問題ニナル点ハ勤務医ノ大多数ハ公務員又ハソレニ準ズル身分デアルタメニ医師以外ノ公務員トノ均衡ヲ破ツテ医師ダケノ待遇ヲ上ゲルワケニハユカヌト云ウ考エデアル。現在ノ法律デハソウナツテイルノデアロウ。然シコノ考エ方ハ戦後ニ始ツタモノデアル。大学教授モイツノ間ニカ公務員ト云ウ事ニナリ。他ノ役人ト何ラ変ラヌ事ニナツタ。他ノ勤務医モ同様デアル。コレガツノ根本的ノ問題デアル。

次に公的病院医師の俸給が低い。病院収入が少い事にも関係がある。医師の底に折柄、医師の待遇を改善したい。病院収入が少いためにコレ以上改善出来ぬと云う事情がある。その原因を除くには根本的に医療費を値上げが必要である。コレには諸方面から反対がある。人間一般に自分不利な事は反対し、他人の損は平気である。医療費を値上げに反対する者があろう。然し医師の犠牲はなされる。勤務医の底に結局はコノヨウナ根本的な点が問題になる。ソレは是正しなければならぬ（昭和39年1月）

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200円を前納する。1冊料金 120円。払込みは振替口座番号京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。